

# 福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.149

(2007年 9月発行)

## 第57回 福商会全国合同同窓大会







## 第57回 全国合同同窓大会

# 900人が集結! 福商会同窓生が 親睦を深める

初夏の風も爽やかな6月3日、第57回全国合同同窓大会がホテルニューオーニクス博多で来賓、同窓生、当番幹事ら約900名が集い盛大に開かれました。式典では本大会の当番幹事を務める柴戸幸司大会実行委員長から、来賓並びに大会に参加された同窓生の皆様への感謝とお礼を述べたあと、大会会長の山口毅理事長から「母校の更なる発展にむけ、教育対策委員会を設置し、学校の抱える課題を学校や専門家との話し合いを通じて、誰もが行きたい学校となるよう努力していきたい。また、110周年記念事業として、同窓生の活躍ぶりを1冊の本にまとめたいと考えており、同窓各位のご協力を「お願いしたい」との挨拶がありました。

★米寿代表挨拶の藤野先輩(34回生)



★喜寿(46、47回生)の先輩方



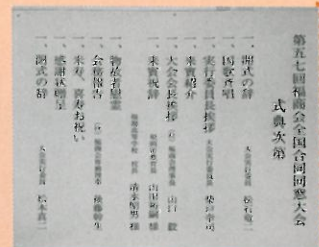
★記念品を受け取る平野先輩(46回生)



★来賓の方々



★当番幹事の皆さん(82回生)



## 式典



★清水校長の挨拶



★山田福岡市教育長の挨拶



★山口理事長の挨拶



第57回全国合同同窓大会

福商 OB 吹奏楽団の演奏

同窓生で混雑する受付

賑わう懇親会会場

同窓生で混雑する受付

吹奏楽団の演奏などが披露され、最後に応援歌、校歌を高らかに歌い、先輩、後輩が一つの輪となって会場は大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

続いて来賓の福岡市教育委員会の山田裕嗣教育長から「第57回福商会全国合同同窓大会が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。また、本市の発展に多大なるご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。教育委員会においても郷土福岡を誇りとし、21世紀に夢や目標を抱きながら、豊かな心とたくましく生きる力を持った人材の育成に取り組んでいきたい」との言葉がありました。

福翔高等学校の清水昭男校長からは「現在、平成の福翔改革セカンドステージとして、進路希望に応じたコース制の導入、福商会からのご支援によるサテライト講座の導入など、具体的な成果を上げるべく教職員一丸となって教育改革に取り組んでいます。今後とも、母校発展のため更なるご支援をお願い申し上げます」と新たな決意に向けての話がありました。

引き続きこの1年間に物故された155名に対し黙祷を捧げました。このあと平成18年度の会務報告を後藤幹生専務理事が説明。続いて米寿(34回生)、喜寿(46、47回生)のお祝いとして記念品を贈りました。最後に育英奨学資金にと、多額のご寄付をされた54回生へ感謝状を渡し、式典を終わりました。

懇親会では大山安太郎先輩(30回生)から乾杯の音頭のあと、詩吟や福商OB吹奏楽団の演奏などが披露され、最後に応援歌、校歌を高らかに歌い、先輩、後輩が一つの輪となって会場は大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

続いて来賓の福岡市教育委員会の山田裕嗣教育長から「第57回福商会全国合同同窓大会が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。また、本市の発展に多大なるご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。教育委員会においても郷土福岡を誇りとし、21世紀に夢や目標を抱きながら、豊かな心とたくましく生きる力を持った人材の育成に取り組んでいきたい」との言葉がありました。

福翔高等学校の清水昭男校長からは「現在、平成の福翔改革セカンドステージとして、進路希望に応じたコース制の導入、福商会からのご支援によるサテライト講座の導入など、具体的な成果を上げるべく教職員一丸となって教育改革に取り組んでいます。今後とも、母校発展のため更なるご支援をお願い申し上げます」と新たな決意に向けての話がありました。



★当番幹事引き継ぎ式(82回生から83回生へ)  
★左から、次期井上氏と本年柴戸氏の両実行委員長が堅く握手



★博多手一本

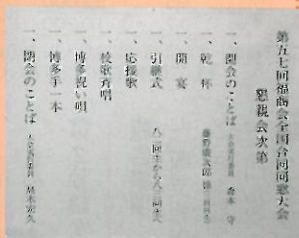


★大山安太郎先輩(30回生) 乾杯の音頭

# 懇親会



★全員で博多祝い唄



CONTENTS	第57回全国合同同窓大会 2~3	マラソン人生記..... 15
	会務及び決算報告..... 4~5	随 想..... 16
	学園だより..... 6~7	トピックス..... 17
	青春プレイバック..... 8	南北アメリカ大陸縦断..... 18
	恩師シリーズ..... 9	福商100年史..... 19
	合同同窓大会を終えて... 10	会費納入者一覧..... 20~21
	同窓会だより..... 11~13	企業紹介..... 22
	同舟往来..... 14	広 告..... 23



★新会員紹介



## 第57回 定時総会を開催

5月27日午後3時30分から福岡市中央区渡辺通りのセントラルホテルフクオカで第57回定時総会が開催されました。代議員総数183名のうち、134名(委任状を含む)が出席し、議長に山口毅理事長、議事録署名人に大庭貞子氏(55回生)、青木進氏(66回生)を指名し、後藤幹生専務理事から4議案について説明があり、全会一致で承認されました。また、母校の清水校長にも出席を願い、学校の現状について話をいただきました。



現状を説明する清水校長



挨拶する山口理事長

- 第1号議案 平成18年度事業報告  
及び収支決算報告について
- 第2号議案 平成19年度事業計画案  
及び予算案について
- 第3号議案 定款の一部変更について  
第17条の役員定数の変更

平成18年度分 年会費30%還元額一覧表

(単位:円)

卒業回生	会費納入者数	30%還元額	卒業回生	会費納入者数	30%還元額
21~30	26		72	27	16,200
31	18	10,800	73	20	12,000
32	15	9,000	74	13	7,800
33	16	9,600	75	28	16,800
34	9		76	15	9,000
35	36	21,600	77	13	7,800
36	17	10,200	78	14	8,400
37	27	16,200	79	29	17,400
38	30	18,000	80	21	12,600
39	47	28,200	81	21	12,600
40	45	27,000	82	29	17,400
41	46	27,600	83	8	
42	46	27,600	84	7	
43	47	28,200	85	9	
44~45	78	46,800	86	10	
46~47	68	40,800	87	10	
48	34	20,400	88	7	
49	23	13,800	89	5	
50	70	42,000	90	4	
51	99	59,400	91	4	
52	100	60,000	92	2	
53	67	40,200	93	2	
54	105	63,000	94	5	
55	113	67,800	95	6	
56	104	62,400	96	1	
57	100	60,000	97	3	
58	101	60,600	98	2	
59	101	60,600	99	3	
60	68	40,800	100	5	
61	72	43,200	101	5	
62	73	43,800	102	10	
63	120	72,000	103	9	
64	69	41,400	104	312	
65	39	23,400			
66	38	22,800			
67	45	27,000			
68	33	19,800			
69	36	21,600	別1~別15	19	
70	95	57,000	定1~定43	25	15,000
71	17	10,200			
				2,513	1,507,800

(還元基準)：会計年度毎に10人以上の会費を納めている卒業回生・原則として理事選出の回生若しくは学年同窓会責任者のいる回生



代議員の皆さん

**現行**  
理事70名以内。  
(うち理事長1名、副理事長2名、専務理事1名、常任理事5名)

**変更**  
理事70名以内。  
(うち理事長1名、副理事長3名以内、専務理事1名、常任理事5名以内)

第4号議案 理事選任について  
新理事 柴戸 幸司氏(82回生)  
退任 荒井 昌夫氏(38回生)  
花村 幸祐氏(38回生)

**報告事項**  
一、100周年記念事業取り組みについて

- 第1号議案 平成18年度事業報告及び収支決算報告の件
- 第2号議案 平成19年度事業計画案及び収支予算案の件
- 第3号議案 定款の一部変更の件
- 第4号議案 理事選任に関する件

## 第1回理事会開催

平成19年度第1回の理事会が5月19日(土)午後3時から福岡会館で開かれました。

理事53名(委任状21名を含む)が出席、4議案について議案審議を行い、各議案とも全会一致で承認されました。

**議案**  
第1号議案 平成18年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 平成19年度事業計画案及び収支予算案の件

第3号議案 定款の一部変更の件

第4号議案 理事選任に関する件

## 第2回理事会開催

- 二、年会費回生別納入状況(4月~3月)
- 三、平成18年度分年会費30%還元報告
- 四、全国合同同窓大会チケット販売について
- 五、福岡市教委から「インターンシップ受け入れ事業所」の協力依頼について

生徒の企業実習等を通じて社会的、職業的自立を促す取り組み。

## 副理事長に安河内氏就任

元福岡商業高校教諭  
(昭和42年5月~平成8年3月在職)



7月23日に福岡会館で第2回理事会が開催され2議案について審議を行い全会一致で承認されました。

**議案**  
第1号議案 副理事長選出の件

安河内眞彦(52回生)理事が副理事長として選出されました。主に学校関係担当として、母校が抱える課題を学校や専門家との話し合いを通じて支援して行こうというものです。

第2号議案 送水管取り換え工事の件

## 報告事項

- 一、収支報告(4月~6月)
- 二、年会費回生別納入状況(4月~6月)
- 三、ゴルフ大会の開催について
- 四、会館の効率的運用の検討について



# 平成18年度 決算報告書

## 収支計算書

■平成18年4月1日～平成19年3月31日

### 収入の部

(単位:千円 千円未満は四捨五入)

科目	予算	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
事業収入	59,300	58,778	14,429	0	44,349
会費収入	8,520	9,114	9,114	0	0
寄付金収入	0	10,011	7,465	2,546	0
雑収入	0	51	30	14	7
その他収入	0	3,650	3,650	0	0
繰入金収入	0	401	0	401	0
当期収入合計(A)	67,820	82,005	34,688	2,961	44,356
前期繰越収支差額	22,966	22,966	16,768	6,198	0
収入合計(B)	90,786	104,971	51,456	9,159	44,356

### 支出の部

(単位:千円 千円未満は四捨五入)

科目	予算	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
事業費	49,100	54,703	30,554	3,905	20,245
管理費	19,440	16,634	7,029	0	9,606
雑損失	0	8	8	0	0
固定資産取得支出	2,000	2,106	843	0	1,263
有価証券購入支出	0	10	3	7	0
その他支出	0	530	4,492	0	-3,962
特定預金支出	0	6,000	6,000	0	0
繰入金支出	0	401	401	0	0
当期支出合計(C)	70,540	80,392	49,330	3,912	27,152
当期収支差額(A)-(C)	-2,720	1,612	-14,641	-951	17,204
次期繰越収支差額(B)-(C)	20,246	24,578	2,127	5,247	17,204

## 正味財産増減計算書

■平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位:千円)

科目	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
<b>増加原因の部</b>				
事業収入	58,778	14,429	0	44,349
会費収入	9,114	9,114	0	0
寄付金収入	10,011	7,465	2,546	0
雑収入	51	30	14	7
繰入金収入	401	0	401	0
合計	78,355	31,038	2,961	44,356
<b>減少原因の部</b>				
事業費	54,703	30,554	3,905	20,245
管理費	16,634	7,029	0	9,606
雑損失	8	8	0	0
減価償却額	3,589	918	0	2,671
繰入金支出	401	401	0	0
合計	75,335	38,910	3,905	32,522
当期正味財産増減額	3,020	-7,872	-944	11,834
前期繰越正味財産額	164,169	127,456	36,713	0
期末正味財産合計額	167,189	119,584	35,769	11,834

## 貸借対照表

■平成19年3月31日現在

### 資産の部

(単位:千円)

科目	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
<b>流動資産</b>	43,796	16,847	5,247	21,702
現金預金	41,374	14,425	5,247	21,702
貯蔵品	1,698	1,698	0	0
立替金	718	718	0	0
未収入金	6	6	0	0
固定資産	258,895	115,906	30,521	112,468
(基本財産)	51,422	21,422	30,000	0
土地	18,822	18,822	0	0
有価証券	11,100	2,600	8,500	0
定期預金	21,500	0	21,500	0
(その他固定資産)	207,473	94,484	521	112,468
建物	92,637	22,974	0	69,663
付属設備	8,762	2,173	0	6,589
什器備品	811	811	0	0
ソフトウェア	258	258	0	0
電話加入権	60	60	0	0
有価証券	545	24	521	0
建物建設積立金	6,000	6,000	0	0
預り敷金引当預金	36,216	0	0	36,216
収益事業出資金	62,184	62,184	0	0
資産合計	302,691	132,753	35,768	134,170

### 負債の部

(単位:千円)

科目	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
<b>流動負債</b>	25,280	13,170	0	12,110
未払金	438	309	0	129
前受金	16,199	12,549	0	3,650
預り金	164	164	0	0
仮受金	718	0	0	718
未払消費税等	826	148	0	678
未払法人税等	6,935	0	0	6,935
固定負債	110,225	0	0	110,225
預り敷金	48,041	0	0	48,041
元入金	62,184	0	0	62,184
負債合計	135,505	13,170	0	122,335

### 正味財産の部

(単位:千円)

科目	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
<b>正味財産</b>	167,186	119,583	36,769	11,835
(うち基本財産)	51,422	21,422	30,000	0
(うち当期正味財産増減額)	3,019	-7,872	-944	11,835
負債及び正味財産合計	302,691	132,753	35,768	134,170

## 平成19年度 収支予算

■平成19年4月1日～平成20年3月31日

### 収入の部

(単位:千円)

科目	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
事業収入	58,600	14,200	0	44,400
会費収入	9,150	9,150	0	0
寄付金収入	0	0	0	0
当期収入合計(A)	67,750	23,350	0	44,400
前期繰越収支差額	24,579	2,127	5,247	17,205
収入合計(B)	92,329	25,477	5,247	61,605

### 支出の部

(単位:千円)

科目	合計	一般会計	奨学金事業会計	収益事業会計
事業費	45,490	27,750	3,760	13,980
管理費	19,090	7,940	0	11,150
固定資産取得支出	3,500	2,000	0	1,500
当期支出合計(C)	68,080	37,690	3,760	26,630
当期収支差額(A)-(C)	-330	-14,340	-3,760	17,770
次期繰越収支差額(B)-(C)	24,249	-12,213	1,487	34,975



# FROM GAKUEN

## 着任挨拶

福翔高等学校 教頭 井上直輝



本年4月に福岡市教育委員会より、本校教頭として着任しました井上です。

私は昭和53年に当時の福岡商業高校に商業科の教員として赴任し、総合学科高校に改変した福翔高校の1年間を含めて、20年間お世話になりました。その我が母校とも言える福翔高校でこれから勤務できることを大変光栄に思っております。

入学式や文化祭で、以前担任をした卒業生から「今、自分の子どもが福翔にお世話になっていきます」という話を聞くと、福商(福翔)の歴史の重さを感じています。

さて、着任して4カ月ほど経ちましたが、福翔高校の抱えている課題の大きさを痛感しています。

現在、福翔高校は大きな転換期を迎えています。制度的な内容の検討も必要ですが、もっと教員がお互いに切磋琢磨しながら、今、目の前にいる生徒をどう鍛えるか、どう指導するか、その指導方法も含めてお互いに知恵を出し合い、全員が「一団となって取り組まなければなりません。『待ったなし』というのが正直今の現状だと思っております。学校は、学ぶところであり、学校の主人公は生徒です。いかに生徒を中心に物事を考えることができるか、教員としての基本的な姿勢が問われています。

「平成の福翔改革セカンドステージ」が名実ともに実を結ぶことができるかどうかは、ここ数年間の取り組みにかかっています。これまでの歴史と伝統を生かしながら、新しい福翔高校の文化をつくり上げていく、そのことが今求められています。

本校がこれからも市民の負託に応え、市民にとって、保護者にとつて、中学生にとって「行きたい学校、行かせたい学校」となるよう微力ながら努力してまいります。福商会の皆様には、今後何かとお世話になると思いますが、母校福翔高校の発展のため、今まで以上に指導とご支援をいただきますよう宜しくお願いいたします。

本校がこれからも市民の負託に応え、市民にとって、保護者にとつて、中学生にとって「行きたい学校、行かせたい学校」となるよう微力ながら努力してまいります。福商会の皆様には、今後何かとお世話になると思いますが、母校福翔高校の発展のため、今まで以上に指導とご支援をいただきますよう宜しくお願いいたします。

本校がこれからも市民の負託に応え、市民にとって、保護者にとつて、中学生にとって「行きたい学校、行かせたい学校」となるよう微力ながら努力してまいります。福商会の皆様には、今後何かとお世話になると思いますが、母校福翔高校の発展のため、今まで以上に指導とご支援をいただきますよう宜しくお願いいたします。

## 着任の先生から一言

椎原 良二 (英語科)



はじめまして。今春福岡西陵高校から転動してきました。初めて総合学科の学校に勤めることになり、不安と緊張の連続でしたが、先生方、そして生徒諸君のおかげで、何とか無事1学期を乗り越えることができました。3年の担任として、生徒の就職や進学の希望が叶うように、一生懸命頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

菊池 忍 (保健体育科)



こんにちは。この春、福岡県立筑紫高等学校から参りました菊池忍(89回生)です。この福翔では、3年間剣道部で汗を流し、平成3年に卒業しました。また、体育教師を目指すようになった私の原点はここにあります。活気ある部活動、人なつっこい福翔生は「今も昔も変わらないな」と感じています。これから母校のため、剣道部伝統復活のために一生懸命がんばっていきたくと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

福吉 智也 (技術吏員)



今年の4月から東区の香椎第三中学校から来ました技術吏員の福吉智也です。今年4年目で4回目の異動になります。福翔での仕事は多く、とてもやりがいがあり、楽しみながら働いています。生徒達もとても明るく、やっとこの福翔高校の雰囲気にも慣れてきました。これからの福翔高校の発展のために精一杯頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

佐伯 淑子 (理科)



はじめまして。この春から新規採用教員として勤務させていたっています。教科は化学を担当しています。福岡に来てまだ2年目です。戸惑いも多かったのですが、やっと活気に満ちあふれた福翔高校の雰囲気にも慣れてきました。伝統ある福翔高校の更なる発展、また、生徒たちが希望の進路を実現できるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

平山 俊彦 (事務)



この春、異動で福岡市土木局 筥崎連続立体開発事務所から参りました。本校の71回卒業生であり、その後福商高校の事務として5年程いましたが、新生福翔高校へは27年振りの着任になります。当時と比べて講堂、管理棟が建ち学校名も変わっていますが、新入生のつもりで頑張りますので、よろしくお願い致します。

井手 大輔 (数学科)



はじめまして。この春から新規採用教員になりました。去年は常勤講師として福翔高校に勤務しておりましたが、こうしてまた福翔高校で教鞭をとることができると嬉しく思うとともに、心新たに福翔高校の発展のために尽力したいと思います。精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

田代 務 (事務)



はじめまして。4月より人事異動で中央市民センターから参りました。学校勤務は初めてですが、福翔高校は若い活気に溢れた明るい職場だと感じています。私は、23歳のとき交通事故により車椅子生活となりました。好きなのは車椅子に優しい下り坂ですが、仕事では前向きに上を向いて頑張ろうと思っています。よろしくお願い致します。

上野 保也 (技術吏員)



今春、弥永小学校から転任してきました。いままです小学校を3校、中学校を4校経験してきましたが、高校の校庭校舎の広さに驚いています。毎日樹木の剪定や草刈り、校舎の営繕と大変ですが、若手の福吉君と力を合わせて、よりよい学校環境の整備に努めています。生徒のみなさんが安全な学校生活を送れますように頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

小櫻 希聖世 (事務)



今回、福岡市職員として新規採用となりました小櫻希聖世です。何かの縁があつて福翔高校に配属となったわけですが、高校を卒業したのが最近でしたので、配属された当初はびっくりしました。「学校」の仕事は、研修で聞いていた「行政」の仕事と違ったので驚きました。毎日が初めての連続で、悪戦苦闘しながら過ごしています。まだまだ新人ですが福翔高校を陰で支える一員として頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



# FROM GAKUEN

## 平成19年度 第1回三者懇談会開催

平成19年度第1回の三者懇談会(学校、保護者、福商会)が7月30日に福翔高校で開かれました。清水校長から「平成19年度学校経営方針」の説明があり、現在進めている「福翔改革セカンドステージ」の実現に向け、数年間の短期向上目標を掲げて取り組むなどの決意を述べられました。また、福商会の安河内副理事長からは「先日の理事会で報告したが、母校の現状については、学校、保護者、福商会が一丸となって学校改革に取り組む必要がある」との意思表明がありました。

意見交換内容

- 1、学校改革について
- 2、部活動加入状況及び1学期の戦績
- 3、奨学制度の見直し



## 新任先生と懇談会を開く

6月15日、天神テララで福翔高校の清水校長ほか平成18年、19年度の異動で母校に着任された9名の先生方と福商会役員との懇談会を開催しました。開催の目的は福商会をより知っていただくことと、会の歴史や活動などについて説明を行いました。先生方は福商会の活動の大きさにびっくりされ、福翔高校の発展に向け決意を新たにしていました。

## 福翔高校野球部の激励会を開催

父母会主催の野球部激励会が6月23日、天神テララで、福商会、OB会、および野球部員ら総勢百余名が集い、今年も盛大に開催されました。志水父母会長、秋丸OB会長、清水校長先生から、選手への激励の挨拶が続き、中山監督からは「二年続けて敗れている3回戦の壁を今年こそ破るため、一戦必勝で戦います」との決意が披露されました。その後、歓談とともに、全員員、マネージャー

紹介、(株)アスカ様ご協力による景品抽選会等、練習時とは異なる和やかな時間を楽しみました。最後は全員で校歌、応援歌を歌い、OBで「応援隊長」の木道先輩音頭による博多手一本で閉会となりました。全国で福翔の試合の結果を気にしている人がたくさんいます。がんばれ福翔球児!

野球部OB会  
野口 次郎(82回生)

## 体育部・文化部の主な活動成績 (4~7月)

### 陸上競技部

#### 陸上インターハイ予選

北九州大会:6月13日(水)~16日(土) ■佐賀県総合運動場 陸上競技場

- |       |       |      |    |        |
|-------|-------|------|----|--------|
| <走幅跳> | 山部倫太郎 | 6m78 | 6位 | 高校総体出場 |
| <走高跳> | 谷 美枝  | 1m65 | 2位 | 高校総体出場 |

### 水泳部

全九州高等学校水泳競技大会:7月20日(金)~23日(月) ■熊本市総合屋内プール

#### ★決勝★

- |                 |                |         |     |        |
|-----------------|----------------|---------|-----|--------|
| <50m自由形>        | 谷口実雅子          | 26秒92   | 1位  | 高校総体出場 |
| <50m自由形>        | 岩岡 里衣          | 27秒52   | 5位  | 高校総体出場 |
| <100m自由形>       | 谷口実雅子          | 59秒20   | 3位  | 高校総体出場 |
| <100m自由形>       | 川崎 仁雅          | 55秒25   | 10位 | 高校総体出場 |
| <女子400mフリーリレー>  | (岩岡・小島・大長・谷口)  | 4分04秒12 | 3位  | 高校総体出場 |
| <女子400mメドレーリレー> | (下大迫・小柳・谷口・小島) | 4分34秒08 | 5位  | 高校総体出場 |

### バドミントン部

九州・全国大会 県大会:6月2日(土) ■アクション福岡

<女子団体>1回戦 福翔 3-1 南筑 2回戦 福翔 0-3 九国大付 ※ベスト16

### 野球部

全国高校野球 福岡南部大会:7月13日(金) ■大牟田延命球場  
2回戦 福翔 1-2 福岡農業

### 柔道部

金鷲旗高校柔道大会:7月23日(月)24日(火) ■マリンメッセ福岡  
×福翔—○城野内(徳島)※4敗(一人棄権)1分けて2回戦敗退

### 書道部

九州高文連美術・工芸、書道、写真展:6月22日(金)~24日(日)  
■宮崎県立芸術劇場・宮崎県立体育館  
宮崎大会<書道部門>林田 桃子 第3席入賞

### 剣道部

玉竜旗高校剣道大会:7月25日(水)27日(金) ■マリンメッセ福岡  
<男子団体>×福翔 不戦4 ○中央学院(千葉)※1回戦敗退  
<女子団体>×福翔 大将戦 ○広陵(広島)※1回戦敗退

### サッカー部

全国高校サッカー選手権大会 福岡大会一次予選  
■福翔高校  
7月26日(木) 福翔 9-0福岡工業  
7月28日(土) 福翔 3-2福岡魁誠  
7月30日(月) 福翔 6-0宗像  
全国高校サッカー選手権 福岡県大会(2次予選)への出場が決定



福商時代が、

# 僕らの青春

high teens of remember



## 全国大会への夢果たす!!

### 福商ラグビー部九州制覇!

井上 正彦 (37 回生)

5年生在学中、福商ラグビー部が念願の全国大会出場を果たした。私は、ラグビー部員ではなかったが、当時の思い出をつづってみた。

#### 宿敵・修猷を破る

ザ★青春

37回生の最後の年、昭和15年木村敬三郎君をキャプテンとしたラグビー部は、九州大会で優勝を遂げ、第22回全国中等学校ラグビー大会(現全国高校ラグビー大会)に出場する金字塔を打ち立てた。

福岡地区予選は昭和14年11月24日、春日原ラグビー場に「世界の空気のうなつても地球の半分くずるとも」の福商応援歌が高らかに響きわたり、この日のために作られた小さい三角形の応援フラッグが破れんばかりにうち振られた。宿敵修猷館との対戦は事実上の決勝戦とみられていた。前半は予想通り両軍とも譲らず互角の試合。後半、15分に右ウイング丸林が巧みに中に切れ込んでオープンに回し、ついにポスト直下にトライ、晴れの福岡地区代表となった。

九州地区予選は北九州代表の名門、嘉穂中と対戦、26対0の大差で快勝。11月26日の決勝戦は佐賀地区代表の佐賀中と対戦。予想通り福商がFWの健闘、TB岸川、豊田らの快走に加え、木村を中心としたHB陣の俊敏な動きで、矢継ぎ早にトライを重ね、53対0の大差で九州大会を制した。

#### 台湾の雄に快勝

ザ★青春

全国大会は年明けて15年1月2日、

甲子園球場で行われ、1回戦は台湾の雄で2年連続出場の台北工業と対戦。福商がFW、TBともに圧倒し13対0で快勝、2回戦は関西の強豪北野中に善戦及ばず17対0で惜敗した。この快挙も一朝一夕に出来上がったものではなく、選手団の育成に努めた指導者たちの努力と血のじむような猛練習の成果であった。

体育担当の坂田一夫教諭(若かったせいか「あんちゃん」の愛称で親しまれていた)は、体育の時間に再三、ラグビーのクラスマッチを行い、その中から有望な生徒を部員にしようとして「バレー部や柔道部員で足が速く、体格が良いならラグビーに向いている」と言いつて誘っていた。坂田教諭は「3年計画でチームを作り上げ、九州の王座を獲得する」と強い執念を燃やしていた。毎日、放課後の猛練習は暗くなるまで続き、ボールが見えにくくなるまで白墨をボールに塗って続けたものだ。先輩OBの熱心な指導も強力で「きつかった練習が終わり、ホッとして着替えていると、九電ラグビー部の安武、酒井両先輩が姿を現し、また、ひとしきり特訓が続いた。両先輩の姿が見えると「またギャングが来た!」との声があがった。しかし猛練習のあと先輩から差し入れられた饅頭の美味かった味は、腹ペコだったせい、今でも忘れられないという。

#### 先生・先輩との強い絆

ザ★青春

キャプテンの木村君は兄さんもラグビーの選手でラグビー一家だった。

天神町(現三菱東京UFJ銀行北側沿い)にあった木村カバン店の2階はラグビー部の別室のようで、練習で疲れた部員たちが集まってきては疲れを癒していた。学校の試験前や試験中は木村君の主導で勉強に励み、泊り込む者もいた。「今から思うと、木村君のお母さんを始め家の人は、我々の自由を「よくぞ」黙認してくれた。

今でも感謝したい気持ちだ」と青柳君は話していた。木村君から「毎年、大東亜戦争で戦死した3君の墓にお参りしている」と聞いて、友情の深さに感動したことを覚えている。今更ながらラグビー部の九州制覇がいかに偉業であったか甦ってくるが、これは選手たちの猛練習に耐えた闘志と努力もさることながら、坂田先生の王座獲得にかけた強い執念と先輩OBの指導、さらに木村君を中心とした全員の信頼と固い団結から生まれてきたものと言える。



当時のラグビー部



恩師先生シリーズ

福商時代の思い出「三題」



第十七代  
福岡商業高校校長  
帆足 行敏

私は77歳になりました。福商教師時代が長く思い出は書き尽くせませんが次の三つを選んでみました。

その一、堅粕校舎時代

私が福商に勤務して組担任になった時のことです。堅粕校舎（現在の東福岡高）時代、当時生徒諸君の進路は九割が就職希望、一割が大学進学。卒業時の就職は一流と言われる大企業等からの求人が多く、初任給は担任より高いところがあった、それだけに生徒諸君は学力養成には真面目で懸命でした。学級目標に(1)絶対遅刻をしないこと(2)服装は福商生としてきちんとすること(3)掃除はサボらず責任を持つて徹底してやること(4)教科は絶対欠点をとらないこと——など掲げ、クラス討論したことが思い出されます。

この中で鮮明に記憶に残っているのが「中庭の掃除」のこと。本館の裏側は中廊下を挟んで片側には花壇の庭、向かいには池と樹木が茂る庭で敷地はかなり広がった。ここが学年に割り当てられクジ引きの結果、わがクラスは花壇の方になった。草ぼうぼうである。さあ大変！「雑草一本生やさんぞ」を合

言葉に、放課後3日間連続、クラス全員で草取り作業し、美事に雑草一本もない見違えるほど綺麗な庭園に様変わりし、以降は当番制へ移行。自分達で汗を流し綺麗になると、クラスには不思議な「学級力」が生まれ、結束力・自主性が高まり、当初の学級目標は担任として楽々と達成できた。現在、日本を美しくする「福岡掃除に学ぶ会」代表世話人をしているが、掃除は教育力の基本に思えてならない。

その二、生徒指導の思い出

野多目校舎に移転して数年たった頃である。学校は山野を切り開いた場所だけに通学が不便。そのため生徒諸君は自転車通学が多かった。つまり自動二輪免許（不許可）を取り、親を騙して購入、通学途中まで乗る違反者がいた。こんな時期に生徒指導の大役を担当したことが思い出される。この頃の主要な任務は自転車の管理。次のような問題で担当の先生方と協議し走り回ったことです。

- (1) 自転車は置場に整然と置くこと
- (2) しつかり施錠しておくこと
- (3) 他人の自転車には乗らないこと

実に簡単な内容。僅かこの3項目だったけれども徹底してやると至難、本当に苦労しました。今でも強く印象に残っているのは対策として、違反自転車には学校で準備した鍵をかけ、対象者にはその場で説諭・指導したものです。

「福商」ネーム入りのラベルを全車に貼り、登録制を採用し、違反者が激減したことが他校に高く評価され、多くの学校が採用したが、福商が先駆的役割を果たしたことが思い出される。

今になって思うと、この生徒指導を通してご縁の深い卒業生が沢山生まれたことは不思議ですが今になると懐かしい。

その三、校長としての思い出

私が福岡市教育委員会指導主事から福岡西陵高・福岡女子高と転々として福商に戻ってきた時、三つの課題をやり遂げようと執念を持ち続けたものです。(1)創立90周年式典行事は絶対にやり遂げる(2)普通課程の一クラスは二クラスにする(3)セミナーハウスを90周年記念事業として絶対につくる。(1)と(2)は先生方の協力で見事にでき、特に(3)については書き留めて置きたい。それは当時、市教委にセミナーハウスの必要性を説き、建設の要求をしても予算が無いと無視されますので、卒業生の金子義定市会議員に協力を依頼しました。

彼は「母校の為なら…、創立90周年でつしよ…」と言って情熱的に動いてくれ、私と彼の二人の署名入り嘆願書を直筆で作成して代議士事務所を訪ね、文部省宛に直訴するなど、私及びもつかない範囲の行動を自費でやってくれました。お陰様で翌年度県立・市立各一校が予算計上、本校も建設が決定した次第です。予算金額二億五千万、卒業生金子議員のご支援と福商会の伝統が野多目校地の一角に燦然と輝いています。

終わりに福商高は百年を超える屈指の伝統校、こんな学校で学ぶ幸せは人間関係の広さ、深さからしてなかなか得られるものではありません。さらに交流を深めて下さい。

ウオー モーボーイッセイ！  
帆足先生の思い出

伊藤 恭介（61回生）

昭和35年、入学式が終わり、クラス編成のため50数名の男女生徒が不安と期待の入り交じった顔で大人しく並んでいます。1年6組の教室、堅粕校舎の中庭に面した薄暗い部屋でこのことです。突然、前の引き戸がガラツと開き小柄ながら色黒、眼鏡の青年教師が教壇に立ち、黒板に「帆足行敏」と大書。続いて「モーボーイッセイ」と発したかと思うと「ウオー」と叫んだのです。鳩が豆鉄砲。とはこのことです。しかし数秒の間を置いて一同どつと沸き、教室は和やかで安堵の雲団気が流れていました。もう50年近くも昔の出来ごとなのに、なぜかセピア色でなく総天然色で蘇ってくるのです。「モーボーイッセイ」は先生に詳しくお聞きすることなく時は流れましたが、多分「孟母一声」ではないかと推察しています。孟母三遷の教えでなく一声で良いのです。先生のクラス116、214、314と続く教え子達は、私のような悪ガキまでも一人の落ちこぼれもなく、社会に送り出して頂きました。電気ホールでの予餞会で皆で歌った替え歌が聞こえて来ます。「十とせえー とうとう出ました帆足さん 色は黒いが気は優し そいつあ本当かね そいつあ本当だよー」。



# 我が母校よ

## 「福商会 全国合同同窓大会」と私

大庭 貞子(55回生)



毎年この日を楽しみにしています。それは若い当番学年の人達の笑顔を見るのがとても嬉しいからです。もう何十年か前、私が当番学年であった当時を重ね合わせて思い出しています。現在「ソラリアプラザ」となっている場所に「スポーツセンター」がありました。冬にスケートが出来た唯一の場所でした。時にはサーカスがやって来たりもしていました。一階の所に「センターシネマ」という映画館があり、三本立て、四本立てを格安の料金で、朝から入り浸りで過ごすこともしばしばでした。

そのスポーツセンターで合同同窓大会を開催したのです。建築関係に就職していた同僚が、鉄の足場を借りて来て組み立て、座席にしたのです。いま思えばとても凄い事だと思います。会場の一角には万一の時に備えて救護のコーナーを用意したり、またチャリティオークションと銘打って品物を買ってもらったりもしました。法被がありませんでしたので、色々な洋服姿の当番幹事でした。近頃のように参加される人数も多くなり、派手さも、賑やかなアトラクションもなかったし……。

でも私なりにとても気持ちが高揚し、どのように進行して終わったか分かりませんでした。

ただ卒業して以来の友人に出会った時の様子が、一番記憶に残りました。卒業してすぐ福岡を離れていたのだから懐かしい；ただそれだけでいい。同窓会に参加された方の中には、その当分の私と同じ気持ちをもたれた方もおられたことでしょうか。同窓会とは、このように懐かしさを味あうことが出来る場所であり、空間なのだと思います。

私はいつも会場でどれだけの先輩や後輩の方と言葉を交わすことが出来るだろうか、と、わくわくしながら会場の中を歩きます。今年には三十回代の大先輩から百回生に近い後輩の多くの方々と一言から、ちよつと長めの会話を交わすことが出来ました。大先輩の気力と後輩からは若さと、両手からこぼれる程のメッセージをいただきました。

私もしばらくは参加することが出来るだろうと思っています。来年の同窓会では何人の方と言葉を交わすことが出来るのか、今から楽しみにしています。そして福商会という大きな友達達の輪の中に、自分がいることの幸せをかみしめています。

参加すれば何回生も、どこの誰かでもなく会場の中の総ての人が友達です。今年都合が悪く参加することが出来なかった方々、次回は私に一言話す機会を下さいませんか。会場でお待ちしています。いつまでも元気で、来年またお会いしましょう。

# 永遠なれ!

## 第57回 全国合同同窓大会を終えて

松石 竜治(82回生)

合同同窓大会が終わってからは、初めての休日。弁当をもって油山へ出かけた。油山は福商(福翔)からも近く、鍛錬遠足にも来ていた。下界の暑さとは無縁の涼しい風に吹かれ、眼下に広がる福岡市の景色を見ながら「終わったんだなあ」と改めて感慨にふけっている。考えてみれば、もう二度とできない、一生に一度の大役だったのだと、今さらながらその意味の大きさを実感した。

82回生は、「継承」をモットーに一年間準備をすすめてきた。ただし、先輩方やり方をそのまま続けることは簡単なこと。その中に82回生らしさをプラスしていくことが大切なことだった。

最初の頃はどこから手をつけていいのか見当がつかず、昨年10月に開いた学年同窓会までは不安だらけだった。でも、その同窓会に百人あまりの同級生が参加してくれて力が湧いてきた。それから6月の本番まで実行委員長の「大丈夫、大丈夫」に引っぱられ82回生なりの方法でやってきた。

合同同窓大会当日「先輩、後輩の皆さんをおもてなしする気持ちを忘れないよう」気を引き締め、受付やお席までの案内、お酒の給仕など慣れない仕事を一生懸命やった。

そして、一番の「らしさ」は、記念品のエコバッグだろう。記念品決定まではかなり時間がかかったが、一人のひらめきにみんなが呼応して出来上がったモノだった。既製品には違いないが、ひと工夫して「らしさ」を加え、限りある資源を次の世代に継承していこうと呼びかけられたのは、当番幹事として

意義があったと思う。また、うわさによると、熱・意気・力のロゴが入ったこのバッグ、とても好評なようで最初に発注した数では足りずに追加発注したらしい。

こうして原稿を書いている横にバッグが見え、その度に準備の期間中から当日までの光景が頭をよぎる。この口にはみんなの思いが詰まっている。

合同同窓会が終わってからは、今日まで何度か同級生に会い、先日は先輩方に慰労会まで開いていただいた。この一年間で本当に幅広い出会いがあり、福商生で良かったと単純に素直に感じている。83回生以降の同窓生にも是非この感覚を味わってもらいたい。

これからは自分たちが先輩方にしていただいたように後輩たちをサポートして、この合同同窓会を続けていければ良いと思っている。

82回生のみんな、一年間お疲れ様でした。最後になりましたが、同窓生の皆様、開催に際して多大なご協力ありがとうございました。

第57回 福商会全国合同同窓大会式典





## 40回生同窓会

福岡市早良区の千石の郷で4月14日、21名が集い40回生同窓会を開催しました。天神の日銀前に集合し、迎えるバスの中で、田中世話人より同窓会基金の収支の説明があり承認を得ました。また福岡100周年記念事業について概略を述べ、資料整備を検討中とのことでした。

午後1時より懇親会を開始。平野幹事司会のもと、田中世話人よりこの1年間に亡くなった友の報告があり黙祷を捧げた後、乾杯。乾杯の音頭は遠路はるばる駆けつけてくれた東京の藤村菊雄君がとってくれました。遠いといえは宝塚市から山本福雄君が新しく顔を見せてくれました。杯をとりかわし、調子はすれの歌からカラオケまで



の賑わいに、つい酒量も増えて、接待さんが「幹事さんどうしましよっ!」...。お開きは「潮湧き立つ玄海の...校歌の一斉高唱から、世界の空気ののうなつても...の応援歌にドラ声を張り上げて、新緑の福岡市郊外早良の山麓に響かせました。3時に終了。バスで天神まで送ってもらい、また来年を約して散会しました。

幹事 野中正十四  
平野 次郎

### 訃報

謹んでご冥福をお祈り致します。  
07.11 小柳 仁君  
07.4.12 古澤 義光君

## 42回生 同窓会

平成19年5月12日(土)12時より清川三光園において、42回生の同窓会を開催した。戦前、戦中、戦後の得難い時代に青春期を過ごしたわれわれも傘寿の年を迎え、80の大台に乗った。

この日は、福商会より後藤専務を迎え、今回はサンフランシスコから西靖之君も帰国し、総勢23名が同舟に参集した。

物故の級友に黙祷を捧げ、挨拶と報告のあとは杯片手に大いに旧交を温めた。興にのり、カラオケ、マジック、仁和加に飛び入りが相次いだ。高齢化に伴い、鬼籍に入る友もこのところ多くなって寂しくなってきたが、素晴らしい余生を送るべく、校歌応援歌に望みを託しつつ斉唱。祝い目出度、手一本を入れ、再会を約し散会した。

当番 小森 耕助  
古田 鷹治



## 53回生3年2組 有志古希の旅

今回は東京支部同窓会に参加の予定で、6月21日から23日までの日程を組んだが、同窓会が30日になったため、日程はそのままに「古都鎌倉と横浜」同窓の旅となりました。

集合場所の鎌倉山・榎亭(らいてい)の古きたたずまいの庭を見ながら、蕎麦を食したり、大仏の高徳院、長谷寺の色彩やかなあじさいに感動しながら、江の島・岩本楼(昔は寺院だった)に宿泊した。カラオケなしで、夜の更

けるのも忘れ飲み明かした。

翌日は北鎌倉から明月院の感銘深いあじさいに出会う。この後三浦半島突端の雨の城ヶ島の灯台、葉山の御用邸を見て、横浜中華街に入り中華料理に舌鼓をうち、最後は新横浜を散策し、帰路についた。



実はこの旅の発端は、還暦を迎えた平成8年からはじまり、3年間は毎年1回、4年目から2年に1度の割合で東京組、九州組でそれぞれ受け持つことになった。願わくば百歳まで続けたいと思う。欲ばりな願望かな...

有馬 輝一郎



59回生 学年同窓会

春爛漫の4月14日午後4時から59回生の同窓会を開催しました。この日は快晴で同窓生103名と、いつまでもお元気の川勝建太郎先生、蔵本隆先生の参加を得、開催場所が小嶋総支配人(59回生)のセントラルホテルということもあり、ゆつくりと久しぶりの会合に和気あいあいの中で、楽しい時間を共有することが出来ました。

この日は福商会の年会費状況や、会費の戻しが私達の同窓会維持費の一部となっていること、また卒業50年目の恒例として、福翔高校の奨学金寄付が予定されていることなどを説明しました。これからは気楽に参加できるように、新年会などでも仲間の輪を繋いでいきたいと考えています。ちなみに平成20年2月2日に午後5時から同じ場所で開催を行います。残念なことと同窓会に出席できなかった人達には、是非気軽に参加して欲しいと思っています。なお来年6月以降の同窓会幹事は1組、以後4・7・8組と決定していることを全員に知らせました。担当クラスの皆様には強力なサポートをお願いいたします。

幹事 羽野 恭子



5月20日に八仙閣で65名が参加して6組の幹事による「55歳記念学年同窓会」を盛大に開きました。川勝建太郎先生、引頭勤治先生をお迎えし、葉室さん(6組)の司会でスタート。物故者へ黙祷を捧げたあと、祝宴に入りました。大賀さん(6組)の逆立ちシヨールやビンゴゲーム(沢山の商品をいただき、みんなありがとう)などで大いに盛り上がり、旧交を温めました。次回の学年同窓会を楽しみに、全員で校歌を歌い二次会へ向かいました。6組幹事の皆さんご苦労さまでした。ありがとうございました。

善生 喜利



第3回 珠珠会

6月3日の「第57回福商会全国合同同窓大会」が終わった後、珠珠会主催の二次会をネパール料理店「Ashok's Bar」で、40数名が参加し「たまたま」の出会いを楽しみました。老若男女の輪のなかで、会長・大庭貞子さん(55回生)の挨拶や山本武先輩(30回生)の乾杯の音頭がかき消されるほどの賑わいでした。参加された皆さんからは「よか企画ばい...」「次も楽しみにしようけんね」と。幹事冥利につける喜びを感じた1日でした。

また、7月には珠珠会メンバーが、



★7月21日 珠珠会 PARTY★

珠珠会副会長 善生 喜利 (69回生)

黒川温泉近くの山本先輩の別荘に集まり、更なる交流を深めています。皆さん次回の集いも楽しみにしててください。

東京支部同窓会

6月30日、霞が関ビル33階の東海大学校友会館で、百余名が参加して、東京支部の合同同窓会が盛会に実施されました。当番幹事65回生の日下部幸さんの司会で、18年度の物故者の方々への黙祷に始まり、平井哲三郎支部長の挨拶、会務の報告があり、出席者の拍手をもって承認されました。来賓挨拶では清水昭男校長から、母校の報告があり、特に有名予備校と提携したサテライト教室の説明や近い将来国公立、有名私大合格への道筋が整ったと報告がありました。続いて山口毅理事長の挨拶、本部同窓会の報告があり、この後、伊賀良雄先輩(42回生)の力強い乾杯音頭で懇親会に入りました。



63回生の合屋勇造さんから10回目の支部ゴルフコンペの案内(10月26日)や、52回生で東京アンダーナイト(夜の昭和史)を発行された山本信太郎さんの紹介など、楽しく会は進みました。今回もアトラクションとして、ポップスチャート2位まで上昇した「梅星」の友情出演で盛り上がり、また今年も本部より支部支援金が理事長より支部長へ贈呈されました。会の終わりは、平井支部長の指揮による校歌、応援歌、凱旋歌の合唱、41回生の濱崎吉三郎先輩の音頭で、福翔高校、福商会本部及び東京支部の発展を願い万歳三唱、同じく41回生の執行季雄先輩の閉会の挨拶で本年度の会を閉じました。

事務局長 片山 紀雄(59回生)



5月18日、近畿在住22人のうち9名と福岡からの2名(中村タエ子、内藤)が、大阪梅田の阪急デパート屋上のビヤガーデンに集まり、「61回卒学年同窓会」を開催しました。大阪に居ながら会う機会もなく、卒業以来初めてという人もいて、会は大いに盛り上がりました。これからもこのような機会を作ろうという話になり、支部の発足になりました。支部長は全員の推薦で阿部武次君に決まり、支部名も「福商61回卒学年合同同窓会

### 第61回卒 学年同窓会近畿支部発足



内藤 博

61回生学年合同同窓会事務局

近畿支部参加者(敬称略)  
阿部武次、大江朋之、白木良昭、田中祐司、平野雅彦、今村(川島)和子、古泉(吉原)マサ子、出嶋(久野)郁子、林(山下)政子

近畿支部」として交友を深めていくことになりました。  
懇親会は二次会まで催され、時を忘れて話に花が咲きました。これからの発展を期待したいものと思っております。

### 筑後支部総会

#### 新筑後支部長に天野氏就任

平成19年度の総会および懇親会を4月21日(土)、久留米市の「ブリヂストンクラブ」で開催しました。はじめに昨年度の物故者へご冥福を祈り黙祷を捧げました。

荒井昌夫支部長(38回生)の挨拶のあと、福商会本部より後藤専務理事のご出席をいただき、福商会の現況と福翔高校の実情について説明を受けました。

荒井支部長より支部長交替の提案があり、昨年度まで幹事として



お世話いただいた天野勝さん(56回生)を満場一致で新支部長に選出しました。ご本人の快諾をいただき、力強い挨拶、決意を表明され、今後の筑後支部の発展を誓い合いました。

乾杯に続き美味しい料理、うまいお酒を楽しみながら会員の近況報告、在学中の思い出話に花が咲き、森住勝さん(42回生)の奇術でさらに盛り上がりました。和やかな雰囲気の中、話も尽きませんでした。万歳三唱し全員の健康と来年の再会を約し閉会しました。

那須 寿幸(58回生)

### 第69回卒業 3年1組同窓会

7月8日(日)八仙閣で69回卒業3年1組同窓会(井上修二君を偲ぶ会)に16名(うち東京より2名)の参加がありました。



二次会は南区中尾の幸寿司(堤君の店)で行い、最後に皆で福翔運動場まで歩き、現地解散しました。久々に、我が母校を訪れ、皆、感無量!! また、今までにない何かを感じた一日でした。福商に感謝!!

吉田 康一



# 同舟往來

## 吉岡 増君(53回生)



「城南学園通り」。この通りの別府小学校運動場に隣接して居酒屋「はげ坊主」がある。その店主が本人で、名はマサルと読む。店名は自らの頭の状態から名づけたようだ。学生時代は福岡駅から吉塚駅まで当時の国鉄で通学していた。3年生のときは、柔道部の主将を務めた。当時の柔道部の活躍については、あまり記憶がないので弱かったのかも知れない。

福商卒業後、大手薬品メーカーの福岡支店に就職した。勤務先が中洲に近いこともあり、当時貴重品であった自社商品のストレプトマイシンを武器に、夜の中洲の女性にアタックしたという。いまもジルバなど踊らせる、そのすんぐりした体形に似合わず、軽快なステップを踏む。たぶん、高校時代の柔道の摺り足と、夜の中洲で精進したお陰ではないだろうか。

昭和55年、いまの店の近くで焼肉屋を開業していたが、地下鉄工事のため現在地に移転した。4年前、長男の克明君(96回生)が修業を終えて厨房に入ってきたので、すいぶん助かっているようだ。数年前から柔道部の51回生の先輩から54回生の後輩までが集まって「はげ坊主」で新年会を行っている。定休日は月曜日で、日曜も営業しているアットホームのいい店だ。一度行かれたらいいでしょう。

居酒屋 092・841・0983  
はげ坊主 浦 正明(53回生)

## 谷口 幸子さん(61回生)



卒業後44年、還暦も早や3年過ぎ、周りは第二の人生を優雅に過ごしている人が多い中、主婦業25年目の時に

突然御主人の死去にあい、失望のどん底に立たされました。しかし彼女は奮起一番勉強に励み、宅建主任者の資格を取り不動産会社を設立。以後、数々の苦勞を重ね会社を軌道に乗せ、今では息子さん達も経営に参加しています。また、無趣味だった彼女が、ゴルフに目覚め人柄の良さからゴルフ友達を含め、周りに人々が集まっています。61回生としては、御主人に先立たれてから社長としてがんばっている彼女は我々の星であり、そんな彼女にエールを送ります。

菊池 嘉美(61回生)

## 石井 志津子さん(66回生)



彼女の生き様には驚かされることの連続である。福商卒業後、経理畑を歩いていたかと思うと、突然アメリカ

に興味を示し、さっさと渡米した。帰国したかと思うと労務畑を走り出した。25歳で労働保険事務組合の福岡支部責任者に始まり、30歳で行政書士、33歳で社会保険労務士の資格を取り独立。40代にして中央大学法学部通信課程に入学し8年かかって卒業。

その後、短大の非常勤講師(社会保障論)、福岡県の非常勤職員(福岡県労働委員会)、労働法関係のアドバイザーなど数種の仕事を掛け持ち、文字通り走り回っている。

志賀中学校からの同窓生でもあり、先日その一人の家に20名程度集まり酒盛りとなったが、その席上で「まだ成長中!!」と言い放つ。結婚、出産、子育てと世間一般の女性としての姿と、仕事の両立。仕事が終われば、焼酎をこよなく愛するオバサンに変身する。この辺りの切り替えの見事さが、公私両面に活躍できる秘訣かもしれない。中学校から45年の付き合いとなるが、まぶしい存在である。年を重ねても魅力ある女性の一人である。

折居 供徳(66回生)

## 添田 敏夫君(67回生)



福商在学中、クワーズ・カーナビーツの名曲「好きさ、好きさ、好きさ」を熱唱する事であった彼には特技があった。昭和43年当時活躍していたグループサ

ウンズ・カーナビーツの名曲「好きさ、好きさ、好きさ」を熱唱する事である。残念な事は、そうとう音痴であった。そんな彼が就職した会社が平和不動産株式会社であった。当時は、福岡天神に証券ビルと長銀ビルを持つ東証一部上場企業である。福岡勤務が長かった彼に転職をもたらしてくれたのが、入社当時の福岡支店長で、その時は本社の重役であった。将来の事もあると本社での経験

を積み事を勧められた。その後、単身で東京本社へ転勤になり、営業、総務、流通部門と自らが志願する形で知識、人脈、手法を磨いた。そして14年間の長きにわたり東京での生活を送り、本社不動産流通事業部長の座をつかみ、その手腕を認められ本社役員となる。今年4月より執行役員福岡支店長として帰福。今後の活躍が大いに楽しみであると同時に、福岡経済界への貢献も非常に期待されるものである。

寺崎 裕幸(67回生)

## 田中 和江さん(68回生)



福商を卒業してから多種の会社に就職し、現在は身体にやさしい無添加、自然派化粧品、健康食品のOEM

製造(相手先別ブランド)の会社を経営。5月に本社、工場を前原市井田に移転し、自社ブランドの化粧品を通販するなど忙しい日々を送っている。通販事業部は天神にあり、180社のOEM製造、また海外(アメリカ、香港、韓国)にも輸出し、世界へはばたく女性経営者として頑張っている。

高校時代は美術部でおとなしい生徒だったが、いまでは多くの人達の前で話をするなど想像できないくらいだ。これも真面目で責任感が人一倍強く、何事にも前向きな性格が、今の地位を築いたと言えるかも知れない。

株式会社ビュール

092・321・3700

平井 敏裕(68回生)



# Hawai Honolulu マラソンと めおと 夫婦は二人三脚



南 徹 (55回生)  
美智子 (59回生)  
(旧姓 井上)

私達は現在、年に一回フルマラソンに出場しています。きっかけは次男が沖縄勤務の時から、那覇マラソンに出ていることを知り「マラソンしてると？すごいね!!」と言ったら「お母さん達も走ったら」と言われビックリしました。日頃から私達が山登りやウォーキングを趣味だと知っていたようです。

## スターターは 新垣投手

そこでもない方向へ動き出しました。丁度その年が私の60歳(5年前)でしたので、還暦記念に走ってみようと思いましたが、9月頃より手探りで練習を始めました。歩きと走りの違いに戸惑いながら、また途中で股関節を痛め治療したりして、いよいよ那覇大会を迎えました。

開催日は毎年12月第一日曜日と決まっています。スタートは午前9時。ダイエーホークス(現在ソフトバンクホークス)に入団予定の新垣投手がスターターを務め、2万人以上の人達が一斉に走り出します。ドキドキしながらの出發です。フルマラソンの制限時間は6時間。その他に21.2キロと31.8キロでの時間制限があります。最初は一人で走っていましたが、間に合いそうにないので20キロ辺りで夫に先に行くと貰い、二人旅となりました。沿道の人達の応援に助けられ、15分くらいオーバーして完走することができました。主人はセーフでした。

## 足を痛めない走り方

次の年からは制限時間のない Honolulu マラソンに挑戦しようと、ツアーに頼ることにしました。説明会では専任コーチから準備運動や走り方など、丁寧な説明を受けました。特に走る時はあまり足を上げず「ヒタヒタ、スリスリ」と滑るように走ると足を痛めにくい、という教えが本場に役に立ちました。Honolulu マラソンは毎年12月の第二日曜日に開催です。

スタートは早朝5時。2時過ぎに起き、簡単な食事をしてアラモアナ公園に集合。各国から3万人もの人が集まりお祭り騒ぎです。5時に花火が上がると、号砲と共に車椅子選手たちに続き、招待選手、一般の順となり、最後は10キロウォーキングの人達です。20分くらいでやっとスタート地点に立ち「ビッピー」と足につけたチップが鳴りよいよスタート。制限時間がないもの



## 応援に後押しされ完走

の気持ちは「ワクワク、ドキドキ」です。「少し楽な気分だ」と思いながら走り出しました。

スタートと同時に歩く人達の間をよけながら、まだ暗い街中を走ります。季節柄、きれいなクリスマスツリーの前で写真を撮ったり、水分のサーブを受けトイレに並んだり、ゆったりした気分での走りです。ダイヤモンドヘッドを越え空も明るくなった頃、もう折り返しのトップ集団が走ってくるのを応援し、我々はそれから長い長い道を走るようになります。目のご不自由な人やお年寄りの一生懸命さに勇気を貰いながら、水分補給や写真撮影、トイレ以外は出来るだけ止まらず、ハイウエーや住宅街を通り抜け、暑さと闘いながら多くの応援に後押しして貰い走りました。

コーチから「途中、ヘトヘトになっても最後は化粧直しでもして、にっこり笑い、手を挙げるように」とのアドバイスを思い出し、二人手をとりあって「バンザイ」をしながらゴール。タイムは6時間7分でした。以来、毎年 Honolulu で走っています。年一回のため練習が大変ですが、健康の証に、出来る限り挑戦したいとの思いが今の心境です。今年も勿論走る予定です。





# 私の宝物

私の宝物は家族である。  
子供たちに自立心を持たせることを  
重点に育ててきた。

郷原 誠一（61回生）

昭和38年に母校を卒業し、入社式のため上京した折、一週間ぐらい長姉の家に世話になったことがある。その時、長姉には三歳と一歳の女の子がいた。姉は三歳の娘に私のことを「おじちゃま」と呼ばせた。三歳の子から、高校を卒業したばかりの私に「おじちゃま」と呼ばれて、私は恥ずかしいやら面映いやらその時は思ったのだが、後になって「おじちゃま」の暖かい響きに何か感動を受けたことを覚えている。一歳にならない時に母を亡くした私は姉の家庭に触れ、温かい「家庭」に憧れていたのかも知れない。

昭和43年に結婚し、娘、息子の俗に言う「一姫二太郎」に恵まれた。昭和54年に4年間であったが大分へ転動になった。息子が幼稚園の年長の時、娘は4つ上で、大分にいる時は休みになれば、家族で史蹟・名所や温泉巡りなど遊び回ったものである。

その頃は、まだ学校では土曜日は午前中登校していたが、私の判断で学校を休ませ月に二回は家族と一緒に篠栗へ帰っていた。先生や他の家族から何と言われようと、私は「子どもには家庭から」という考えがあった。

その後篠栗に戻った私達は、毎年夏が来れば志賀島へ泊まりがけで家族と過ごした。息子と私は水中メガネと矛を持つて海に潜ったものである。蛸や蟹、鮑、

さざえ、ペラ、アイナメ、メバル、舌平目などが捕れた。買って来た肉や野菜などでバーベキューしながら、家族でワイワイするのが楽しみの一つであった。

息子には小さい頃から山や海での遊び方を教えたことだからか、会社の子供達との遊び方も心得たもので、会社の皆からは喜ばれ感謝された。特に志賀島での集まりに会社の人も参加したが、その折娘が彼氏を連れて来たことで皆驚いていた。子供が親離れしていかないのではと言われたが、私達は今まで何でも言える「家族」として過ごして来たことが、他の人には驚きと思えることも、私達には自然の「家族」である。家族としての日常の対話は、子供達が大きくなった今も変わらない。

私達は、出来るだけ親に迷惑を掛けないようにと、女房と話し合って自費で結婚式を挙げた。そのことを娘、息子に話していたこともあってか、娘も自分達で結婚式を挙げ今年16年になった。心配していた息子も4年前に結婚した。息子から「オーストラリアで式を挙げたい。このために貯めていた金があるので、嫁の家族も含め費用は持つので式に参加して欲しい」とのことであった。娘婿は仕事柄休みが取れず、結局娘と孫二人を参加させた。息子から不足分は出して欲しいと言われていたので、親としてはこれくらいはと了承し、孫達含めての楽しい「オーストラリア12日間ウエディング旅行」となった。

一番喜んだのは孫達であったことは言うまでもない。



時が経つのも早いもので、私達夫婦も来年結婚40周年（ルビー婚）を迎える。今年には結婚39周年の年。8年前から年末年始の一週間で別府で過ごしている。娘夫婦は孫を連れ、息子は嫁を連れて正月を一緒に過ごすことにしている。押し付けではなく自由参加で、諸経費は私達夫婦持ち。

別府湾から登る初日の出を拝みながら、今年には結婚39周年の年を感謝の年「サンキユーの年」としてお互いに感謝する年にしようと、38年の長い歳月に思いを馳せながら女房と約束を交わした。

64回生（昭和41年卒業）  
還暦合同同窓会開催のご案内

日時 平成19年11月3日（土）  
受付開始 午後4時  
合同記念撮影 午後4時45分  
開 宴 午後5時  
会 場 セントラルホテルフクオカ3F  
福岡市中央区渡辺通4丁目1-2  
電話 092-712-1212  
会 費 8,000円  
問い合わせ先 吉井 薫（2組）  
他クラス実行委員

「きんぐり会」  
第2回イベントのお知らせ

日時 平成19年10月28日（日）  
受付：午後1時30分から

会場 福商会館2F  
会 費 3000円  
講演会 午後2時から

テーマ「さくら会ってな〜に？」  
女性が変われば社会が変わる

講師 林田 スマさん  
プロフィール

RKB毎日放送を経て、現在フリーアナウンサー。平成8年より大野城まどかぴあ女性センター（現男女平等推進センター）所長。

引き続き参加された皆さんと  
交流会を行います。

問い合わせ先  
福商会さくら会事務局まで  
TEL 092-711-9890



## 同窓生の様々な話題をお伝えするコーナーです



## TOPICS

祝うたア!  
福商OBどんたく隊

5月4日、福岡市民のまつり「博多どんたく港まつり」に松本嶺子先輩(53回生)から比田勝義弘君(99回生)まで、総勢22名の福商OBが参加しました。櫛田神社横の「博多町家ふるさと館」に集合し、神社の舞台上で校歌・応援歌を歌い、そのあと川端通りを中心に同窓生が経営する店舗を一軒一軒回り「祝うたア!」で締めました。

最後に故・前谷勝二先輩(58回生)の店「胡瓜屋」で昼食。今年の盛り上がり来年にと、話は弾み「祝うたア!!」で再び締めました。

## 同窓生のみなさん!

## 来年の参加を待つとうばい!!

福商OBどんたく隊の名称は「ふくしょう@とりもん」です。今回の内容をホームページに掲載しています。

アドレスは

善生 喜利(69回生)

## TOPICS

山口理事長ら  
市教育委員会を訪問

5月9日、山口理事長、後藤専務理事ら役員は、福岡市教育委員会に着任された山田裕嗣教育長を表敬訪問しました。訪問のなかで山口理事長から「母校の将来にたいし、学力、入試倍率などから強い危機意識を持っている。学校も強力で改革をすすめているが、生徒から『行きたい学校』と言われるよう、教育委員会の指導を是非お願いしたい。また、福商会もお手伝いできることがあれば、ご助言願いたい」と母校の現状について強く訴えました。山田教育長からは「春から組織を高校教育改革と新たにしており、努力していきたい」との話がありました。

## TOPICS

## 剣道部OBが、母校へバスを寄贈

福翔剣道部のOB会(福商剣友会)から、剣道部創部100周年記念事業の一環として母校へ「剣道部バス」が6月1日に寄贈されました。同窓生皆様のご支援、ご協力により実現できましたこと、誌面をお借りして心から厚くお礼申し上げます。また、4月1日から剣道部OBの菊池忍教諭(89回生)が着任し、芝恭介(現部長)教諭と共に指導に当たっています。



左から福翔高校 清水校長、福商剣友会 川原会長、剣道部 芝部長、剣道部 菊池監督

福岡県立筑紫高等学校に勤務し、低迷していた剣道部を県大会の常連校にまで導かれました。ベテラン監督の芝教諭と若き猛者菊池教諭の深い師弟関係と福商剣友会が一層団結し、支援することにより「古豪復活! 問近!」を確信しています。今後とも福翔剣道部に温かいご声援、ご支援をお願いいたします。

福商剣友会 跡部宗教(79回生)

## 惜職文化乱

言動自聴視可評  
当今惜見行蔵誠  
心珠無恥周心服  
歸去自尊大道旌

職文化の乱れを惜む

言動は自から聴き視て評すべし  
当今惜み見る行蔵の誠  
心珠に恥じ無くば周も心服す  
歸去自尊大道の旌に

竹森 秀己(53回生)



# 国産車で5万キロ走破!

## 40年前の

## 南北

## アメリカ大陸

## 縦断記

## 吉積隆二 (50回生) 2



南北アメリカ大陸縦断隊の車

- 母校山岳部OB 遠征隊メンバー
- アドバイザー: 吉積 隆二 (50回生)
  - 隊長: 尾石 光治 (54回生)
  - 隊員: 平野 孝司 (56回生)
  - 隊員: 江上 守 (56回生)
  - 隊員: 権藤 康熙 (56回生)
  - 隊員: 林 洋一郎 (58回生)

1966年5月28日、横浜港を川崎汽船の「第五真盛丸」日産自動車専用輸出船で車と共に出港し、アリユシヤン列島のキスカを北に眺めながら、アラスカアンカレッジに入港。アンカレッジで数日間、出発の荷造りをしてフェアバンクスへと北上した。北極圏に数キロの場所、ここが南北アメリカ大陸縦断の出発点である。3カ月で造ったと言われるアラスカハイウエーを一路南下、右足の膝を伸ばしたままアクセルを踏んで1時間以上、時速90マイル(約145km)で走る。離合する車は数台で、サーキットコースでも走っているみたいだった。バウンタリーから国境を越えてカナダのユーコンテリトリー、ドーンソンへと走破する。ユーコン川の源流、ホワイトホースへと向かうが、蚊の大群で10分も走ればフロントガラスは、前方が見えないほど汚れ、ワイパーを動かしても蚊の死骸でベトベト。洗っても洗っても汚れは落ちない。ドーンソンクリーク、エドモントンとカナディアンロックキーを縫うように東へ西へと、ジャスパー、バンフ、カルガリーそして北緯50度のバンクーパーへ。カナダを後にこれからアメリカへと向かう。



U.S.A オークランド市議会会場にて

ワシントン州、シアトルに到着。早速、メディアを訪問し、走破計画を手渡す。翌朝の新聞に掲載された。シアトル在住の今村勝先輩(5回生)に到着報告をする。シアトルを後に東へ、スポーカン(ワシントン州)、ヘレナ(モンタナ州)、ヘレナイエローストーン国立公園を見学。ロックスプリングスを後に、ソルトレイクシティ(ユタ州)ウイネマツカリノ(ネバダ州)、サクラメント、サンフランシスコ、そして福岡市の姉妹都市オークランド(カリフォルニア州)に到着し、市長に阿部源蔵福岡市長のメッセージを渡す遠征目的の一つに姉妹都市訪問があり、姉妹都市委員会の交歓歓迎会が開かれ、また行動日程の調整で10日間ほど滞在中、西

靖の先輩(42回生)が私の兄の福商時代の同級生がサンフランシスコ在住で、日系新聞を見て隊の到着を待っておられた。また、私の同級生の和田和雄君(50回生)がサンフランシスコ在住にも色々世話になった。アラスカから高速の運転や右運転席の右側通行と、慣れない運転で神経も消耗し、良い休養でもあった。

ヨセミテ国立公園まで足を延ばし、モディスト、フレズノ、ベーカーフィールドそしてロサンゼルス。ここで福岡県人会の歓迎を受け、ロス日産の芝山社長(オーストラリアラリーの優勝時のキャプテン)に、高速長距離運転の状況などを報告し、シヨックアプナーの交換、板バネの一枚補強を整備してもらった。勿論、タイヤも交換した。領事館にも報告に行く、領事から「君達の隊は事前に行動計画を知らせ、到着時には必ず大使館、領事館に到着の報告がある、日程通り行動していることが把握できる」とのこと褒められ、会食の接待を受けた。このとき、東京の出版社が同じ行動をしていたが、カナダでリタイアしたことを知った。

ロサンゼルスは丁度、お盆で夏祭りの真最中で日本人会の剣道大会などが催されていた。また、県人会の皆さんによる壮行会が開かれ、海外移住者との交歓にも役立ったように思う。ロスを後に、カリゴーストタウン、ラスベガスへ向かう。気温は40度以上、寒暖計が割れたものもあった。残念ながら我々の車にはクーラーはついていない。車はヒートし、ラジエーターの前にウォーターバック(布目の粗い袋)を吊り下げて、水滴をほとほと落としながら走る。これで少しはオーバーヒートは防げたが、オーバーヒートしてエンジンを止めるものなら、なかなかエンジンからはからない。ラジエーターの蓋は熱くて触れない。自然に冷えるのを待つしか手がない。数時間はオーバーカムも知れないが苦しい経験をした。窓を開けて走るよりも、窓を閉めて走った。外気の温度が高い。

デスバレー、フーパーダム、コロラド川に沿ってグランドキャニオン・フェニックス(アリゾナ州)を後に、ニューメキシコ州の国境の町エルパソへ向かい、ここでアメリカを離れメキシコに入国する。

次号に続く



# 福商100年史 ⑧ 黄金期の、卒業生たち 福商の輝く星

福商100年の伝統は実業界を中心に幾多の人材を輩出したが、以下に何人かの先輩達を列挙してみよう。

## 実業界に 貢献した 先輩達編

### 福岡経済界に貢献



木村重吉 (15回生)

福商時代はテニス選手として第一回福日大会で優勝するなど

ポーツマンとして活躍。1918年(大正7年)に福商を卒業後、慶応大学理財科(現経済学部)に進んだ。卒業後、西鉄の前身である福博電車に入り、1951年(昭和26年)に西鉄3代目社長に就任した。昭和27年にはテニスのデビスカップ戦に総監督として中牟田喜一郎監督らと渡米。また、西鉄ライオンズ球団社長のときは西鉄の黄金時代を築いた。九州朝日放送社長も歴任し、地元福岡経済界に貢献した。

### 新天町の発展に貢献

原田平五郎 (17回生)



福商から山口高商に進み、さらに東北大学法学部を卒業し

た。1929年(昭和4年)におたふく綿を経営していた原田家の養子になり、その後社長、会長を務めた。また、福岡市商業の再建(戦災復興)に深く関わった。新天町商店街公社社長に就任し、同商店街の発展に貢献した。1964年(昭和39年)には福岡商工会議所会頭に就任するなど、福岡経済界の重鎮として活躍した。

### 多くの企業を再建

篠原雷次郎 (19回生)



福商時代は硬派の正義派で応援団長。九州大学法学

### 博多祇園山笠振興会 会長としても活躍

井上吉左衛門 (19回生)



卒業後、早稲田大学商学部を出て家業の海産物問屋を継いだ。戦後は料理屋やタクシーの西日本自動車を興し、昭和26年に市議会議員、30年県会議員に初当選した。以来県議連続6期、49年には議長。また自民党県連の総務会長、幹事長、副会長を務めた。33年

部を昭和5年に卒業し、福岡日日新聞社(現西日本新聞社)に入り、大阪支局長を務めたあと転身して日本レヨン姫路工場長。その後、証券、航空機、電機関係など異業種を多く経験し各企業の成功に貢献した。戦後に福岡市で精版印刷(現凸版印刷)の創立に参加、常務、専務(昭和29年)を経て、北九州コカ・コーラボトリング(現コカ・コーラウエストジャパン)社長に就任し、福岡経済界にも大きな功績を残した。

から25年間、博多祇園山笠振興会会長。タクシーや料飲組合の重鎮として業界のまとめ役だった。

### 兄弟5人福商一家

石村善右 (23回生)



福商を首席で卒業し、長崎高商に無試験推薦だったが進学をあきら

め、家業の製菓業石村萬盛堂を継いだ。その代わりに弟たちに大学教育を受けさせた。第4人も福商卒または一時在学したことがあり、福商一家といわれた。業界関係では全国銘菓協会常任理事を務めた。若いころから禅と書の修業を積み書家、仙崖研究家としても知られた。仙崖の名をつけた菓子を作ったり、仙崖和尚文化保存会を設立して仙崖和尚の顕彰に努めた。

### 石村兄弟

石村善左 (30回生)

石村式速記開発者

石村暢五郎 (33回生)

元日本大学教授、

元福商会東京支部長

石村善助 (39回生)：福中転校

元東京都立大教授

石村善治 (41回生)：福中転校

元長崎県立大学学長、

福岡大学副学長



会費納入者

長期納入者(20年度分以降)は全員記載しています。毎年9月時点で長期納入者全員をお知らせいたします。ご確認願います。

Table listing members categorized by years of membership (e.g., 46年経て, 45年経て, 44年経て, 43年経て, 42年経て, 41年経て, 40年経て, 39年経て, 38年経て, 37年経て, 36年経て, 35年経て, 34年経て, 33年経て, 32年経て, 31年経て, 30年経て, 29年経て, 28年経て, 27年経て, 26年経て, 25年経て, 24年経て, 23年経て, 22年経て, 21年経て, 20年度分). Each entry includes a number and a name.









●元気印の企業紹介 GENKI COMPANY vol.9●

物流のプロフェッショナル

# Uratsuka PRO.

浦塚 健二さん(89回生)



シリーズとして同窓生で活躍されている「元気印の会社」。今回は Uratsuka PRO. の浦塚健二氏(89回生)を紹介させていただきます。

浦塚さんは中学時代から陸上部(砲丸投げ)に所属し、福岡県歴代4位の記録を出すなど活躍。高校進学については体の故障もあり、陸上をするつもりは無かったようですが、3年のとき、恩師八木雅夫先生が中学校を訪れ「スポーツ推薦を受けてみないか」との誘いがあつたそうです。浦塚さんの実家は左官業を営んでおり、工業系の学校を志望していました。八木先生の来訪を受け、とんとん拍子に話が決まり福商へ入学したとのことです。入学後は陸上部で仙台インターハイに出場するなど活躍し、この経験や学校生活で培った「**努力、忍耐、達成、友情、財産**」が、その後の人生に大きく影響を与え、本人曰く「人生の宝物(財産)が柱であり、常に心の財布に保管され生き続けている」そうです。卒業後は会社勤めやアルバイトを繰り返しながら、自分に適した職を探し求め、その結果、今の会社(軽運送業)を興して6年になります。

運送業界は競争も激しく、しかも参入業者が年々多くなっています。この中で生き抜いていくためには「母校時代の財産と**理念、職人の技、信念を貫く、空よりも広い心、清楚をしっかりと持ち、他業者とは一味違った付加価値をつけた会社**にしたい。また、今振り返ってみると、会社を退職したのが結婚の2カ月前、その後家を建て、子供3人を育てながらのなかで、家内には本当に迷惑のか

けっぱなしです。感謝の気持ちで一杯です」と笑顔で語ってくれました。

最後にこれからの目標はと聞くと「私がいまあるのは家族は勿論、父と母の血筋を受け継いだ『頑固さと優しさ』を持って一生懸命頑張ってきたからだと思えます。これからは従業員が楽しく、やりがいのある職場環境を作り、更なる飛躍をしていきたい」と力強く話してくれました。

## 私の信条

- 福商魂を持つ者ならば、負けてはならぬ
- 自分で自分の首を絞めるようであれば、やる価値がない
- 従業員の生活を守る
- 商人である前に、アスリートであれ

# Uratsuka PRO.

## 【事業内容】

**運送:** 運搬可能なものであれば、何でも対応いたします。

- ◆ 全国配送
- ◆ スポット・チャーター便
- ◆ 緊急配送
- ◆ 企業チャーター便(企業専用)
- ◆ 高級家具の配送・組立
- ◆ 重量機器

**引越:** 单身者を専門に安全梱包・安全輸送にて、全国どこへでも運搬いたします。

- ◆ 陸送便
- ◆ コンテナ便
- ◆ エア便

## 【本 社】

福岡県春日市弥生4丁目61-1  
TEL:092-584-8057  
FAX:092-584-8079

URL:www.urapro.jp  
e-mail:info@urapro.jp

- 福岡営業所
- 熊本店
- 大分店
- 広島店
- 宮崎店





**NETWORK SYSTEM REMIX Co., Ltd**  
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

**株式会社 エヌ・エス・エックス**

代表取締役 跡部 宗教 (79回生)  
ATOBE MUNENORI

福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝貝ビル2F  
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

Total Support Of Computing

ビューティ・ビジネスの未来を創る。  
**株式会社 ダリヤ**

代表取締役会長  
**高木 不二男** (60回生)  
TAKAKI FUJIO

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25  
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347  
E-mail: f.takaki@net.email.ne.jp  
http://www.mmjp.or.jp/dariya

**不動産の仲介**  
**(有) ヨシイホーム**

代表取締役 **吉井 薫** (64回生)

福岡県知事免許(4)第12151号(社)福岡県宅地建物取引業協会会員  
〒812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目41番9号  
TEL 092-621-2840 FAX 092-612-2040

「うまい!」うれしいお礼のことば  
きつと印象に残ります……………

**味のめんたい 福太郎**

代表取締役社長 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場  
〒815-0001 福岡市南区五十三川1-1-1 電話(092)475-7777

博多人形・博多織・久留米絨

**増屋**

取締役相談役 **田中 寛** (40回生)  
取締役 **高崎 隆** (43回生)

川端本店/博多区上川端商店街 TEL092(281)0083  
支店/天神地下街・博多駅名店街店・  
モスバーガー・薬院店・赤坂店

総合建設業一級建築士事務所

**株式会社 五成建業**

取締役会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19  
TEL 03(3418)8151(代)  
FAX 03(3424)9418

**株式会社 堀江本店**

相談役 **堀江 武** (52回生)  
代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41  
TEL(092)503-0121(代)  
FAX(092)504-1219

広告代理店

**株式会社 春潮社**

取締役社長 **古川 淳二** (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12  
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ

**株式会社 中島晴薫堂**

代表取締役 会長 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044  
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449  
〒854-0055  
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675

工業用テープ  
包装テープ  
梱包機・梱包資材  
カッティングテープ  
カット絵文字制作

**福岡テープ株式会社**

代表取締役 **糸永 清二** (55回生)  
福岡市博多区那珂3丁目2-4  
TEL 092-411-3929(代)

**imai PRINTING**

代表取締役社長 **今井 勝彦** (57回生)

**今井印刷株式会社**

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号  
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する 総合建設業・木材業  
柏屋グループ 不動産業・アバマン柏屋店

一級建築士事務所

**柏屋殖産株式会社**

代表取締役会長 **篠原 隆義** (54回生)

本社 柏屋郡柏屋町大字仲原2525  
電話(代表)621-1331番

有限会社

**エステート平野**

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号  
TEL(092)431-5616

**紙与産業株式会社**  
**紙与不動産株式会社**

代表取締役会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号  
電話(092)721-4531番

同窓生のご用命をお待ちしています  
同窓生特別割引を致します

早く・安く・丁寧にをモットーにしております。

代表取締役 **永島 光雄** (55回生)  
**笠木 雄二** (65回生)  
印刷の **本村 智彦** (82回生)

**nip 株式会社 ナガシマ**  
福岡市博多区豊1丁目9-18 TEL482-7751(代) FAX482-7734

伝えたい・残したい物があるとき  
一冊の本にしてみませんか!!  
お気軽にお電話下さい。

**正光印刷株式会社**

藤村 みつ (53回生)

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号  
PHONE:(092)741-3266

倶楽部

**萌** since 1999

**長谷 州身子** (81回生)

〒810-0801 福岡市博多区中洲2丁目3-1 中洲Fビル3F  
TEL092(262)5577

送引越 福岡

PROFESSIONAL by  
**Uratsuka PRO.**  
www.urapro.jp

代表 **浦塚 健二** (89回生)

本社:〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1  
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079  
e-mail/info@urapro.jp  
☎ 0120-100-822

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

記事投稿のお願い

会員皆様からの記事投稿をお願いしております。随想、俳句、写真、趣味や同舟往來の紹介など何でも結構です。ご連絡をお待ちしております。

〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-57 (社)福商会

**TEL:092-711-9890**  
**FAX:092-711-9266**

**八仙閣**

福岡市博多区博多駅前2丁目7-7  
電話(092)411-4141番

9/10(月)新装オープン

玄海の磯の香りをそのまま直送

**魚村**

福岡市中央区大名1丁目4-24 ☎(092)781-7388  
代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。



# 会館だより

## 第66回 創元展初入選 海老塚健二さん(54回生)

5年前から始めた油絵が、第66回創元展に初入選。海老塚さんは井口由多可画伯の絵に感動し、65歳の誕生日から同画伯の絵画教室に通いはじめ、このたびの快挙となりました。

### 主な作品

平成17年6月 創元会西日本支部展  
「ニューヨークの追憶の灯」30号初入選

平成18年6月 創元会西日本支部展  
「ベニスの商店街」60号初入賞

平成19年4月 第66回創元展  
「ベニスの商店街」100号初入選東京国立新美術館に  
展示される



ベニスの商店街 F60 海老塚 健二

## 奨学育英基金へ寄付

6月21日に平田稔樹、哲子ご夫妻(共に64回生)が来館されました。文具事務機の店を経営されており、今年で創業60周年を迎えられたことから、記念に奨学資金にと金一封を持参されました。ご厚情に心から感謝申し上げます。

## 編集後記

昨年の9月号から、福商会報の広報委員に加えてもらっている。十数人いる委員は、年齢は違うし、経歴、職業もいろいろ。そんな人達が毎月一、二回集まって、自分の経験や知識、考え方を出し合って、よりよい会報作りに務めている。

私の場合は原稿を読んで「この表現はの方がよいのでは」あるいは「この字はこちらが正しいのではないか」と意見を述べるだけです。それに比べて、福商会の川瀧事務局長は大変だ。それも多忙な福商会事務局長の職務に対応しながら、毎号の企画、原稿の依頼と、神経をすり減らしている。写真にしても同じような構図のものが届けられる。例えば「同窓会だより」では、記念写真的なものが多い。原稿を読むと、同窓会の会場で奇術を披露する人、得意の話を聞かせる人がいる。会の終わりには全員で校歌の斉唱や、手締めをしている。そうした動きのある写真を寄せら

## 母校生徒たちが来館

猛暑が続いた、7月20日と8月9日に福翔高校の顧問の先生方と生徒たちが、全国大会出場の報告のため来館しました。生徒たちは「全国大会での上位入賞を狙って頑張ります」と力強く語っていました。



### 全国大会出場生徒

#### 1 NHK杯全国高等学校放送コンテスト

(テレビドキュメント部門)

川本沙織(3年)、桐田理子(2年)、貝屋めぐみ(2年)

#### 2 全国高等学校総合文化祭書道部門

庄司恵恋(3年)

#### 3 全国高校総体 陸上競技大会

男子走り幅跳び:山部倫太郎(3年)

女子走り高跳び:谷美枝(3年)

#### 4 全国高校総体 水泳競技大会

100m自由形:川崎仁雅(3年)

50m・100m自由形:谷口実雅子(3年)

50m自由形:岩岡里衣(1年)

女子400mフリーリレー(岩岡・小島・大長・谷口)

女子400mメドレーリレー(下大迫・小柳・谷口・小島)



水泳部の生徒たち

れると、川瀧事務局長は助かると思う。会員の皆さんのご協力をお願いしたい。

西嶋 三七男(45回生)

会報は学友会誌第1号(明治35年)より独立して、大正9年に「福商会報」として第1号が発刊されたと、福商百年史に記載されております。途中戦時下等で休刊することもございましたが、先輩方の母校への熱い思いと同窓生への信頼や相互扶助の絆を大切に育ててこられたことにより、会報が長い年月を経てなお今日まで読み継がれていることと思っております。

時代が移り変わっても福商の歴史と伝統を後輩に伝えていくのが今の私たちに出来ることだと思います。

皆様方が作られるページもごさいますので、どうぞご投稿をお願いいたします。

藤村みつ(53回生)